

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	40	食事中、テレビを点けて食事をされており、集中してご飯を味わって食されていない方がいる。	集中してご飯を味わって頂けるよう環境に配慮し、全ての利用者様に落ち着いて楽しく食事を摂って頂く。	食事中はご利用者が知っている音楽もしくは心が落ち着く音楽をかけ、会話も多く取り入れ、味わって食事を楽しんで頂けるようにする。	12ヶ月
2	45	重度化により浴槽に入る事が出来ずにシャワー浴対応のみになっている方がいる。	シャワー浴対応になっているご利用者様でも毎月1回を目標にデイサービスの座位浴を利用し、それ以外でもスタッフの人数が多い場合は座位浴を利用できるようにする。	毎月の勤務表にて事前にスタッフの人数が多い事が分かる日に入浴の検討し、デイサービスに連絡し入浴可能な時間帯を確認し、入浴を行う。	12ヶ月
3	23	日常生活の中でご利用者の言動等から思いや希望の把握を行い外出やレクリエーションの参加に努めているが、レクリエーションの種類も少なく希望を満たせていないように思える。	レクリエーションの種類を増やし、雨の日でもご利用者が楽しめるようにする。	認知症の重度、軽度関係なく、参加でき、楽しめるレクリエーション内容を検討し、実施する。また、個別のレクリエーション内容を検討し、実施する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。